

療育支援専門部会担当分の骨子（案）

分野（大分類）	施策の方向性（中分類）	説 明	指標等
4 障害のある子どもの療育支援体制の充実 「障害のある子どもが、ライフステージを通じて一貫した療育支援を受けられるよう、関係機関の連携により、地域における療育支援体制の構築を図っていきます。 また、手帳の有無や診断名等に関わらず障害の可能性が見込まれる児童のために、地域の障害児施設の有する機能や人材を活用して早期発見や診断、適切な治療や訓練等を行い、地域生活における療育、相談支援体制の充実及び在宅障害児等やその家族の福祉の向上を図っていきます。 さらに、ホームヘルプや障害児通所支援、訪問看護などを通じて在宅支援機能の強化を図り子どもの育ちと子育てを支える施策に取り組みます。 なお、東葛地域における重症心身障害児（者）施設の整備について東葛6市と連携しながら整備に向けた支援を行います。 また、重症心身障害児（者）等が入所する老朽化が進んだ県立施設の整備の在り方について、今後検討してまいります。」※ 総合計画から	（１）障害のある子どものライフステージを通じた一貫した療育支援体制の充実 （２）障害のある子どもと家族への在宅支援機能の強化 （３）地域における相談支援体制の充実（再掲） （４）障害のある子ども一人ひとりに合わせた教育の充実 （５）障害のある子どもへの医療・福祉サービスの充実	<p>乳幼児期から学校卒業後まで一貫した支援を提供するための体制の整備を進めるため、早期発見や早期支援の充実、ライフステージを通じた支援を行うための情報伝達ツールであるライフサポートファイルの拡充、障害特性に応じた支援等に努める。また、児童発達支援センターや児童発達支援事業所の拡充、障害児等療育支援事業の推進、さらに、児童発達支援センターの機能強化を通じたネットワークの構築により、療育支援体制の整備を図る。</p> <p>在宅の障害児やその家族が、身近な地域で支援が受けられるよう、ホームヘルプ、訪問看護、障害児通所支援、短期入所等の充実に努め、在宅支援機能の強化を図ります。</p> <p>【主として相談支援専門部会で検討】 発達障害児の早期発見・早期支援が行われるよう、保育士、幼稚園教諭、訪問支援員を対象とした研修を行うほか、発達障害児等の親が安心して子育てできるよう、発達障害児の子育て経験を生かして相談・助言を行うペアレントメンターの研修等を進めるとともに、千葉県発達障害者支援センター運営事業と組み合わせ、地域の実情に応じた総合的な支援体制を構築する。</p> <p>発達障害を含む児童、生徒がそれぞれの特性に応じた教育を受けられるよう教育環境のハード面とソフト面を整備し、合理的配慮の充実及び特別支援コーディネーターの専門性の向上等を図る。</p> <p>重症心身障害児が、必要な支援が受けられるよう、医療・福祉・教育等の連携を図る小児等在宅医療連携拠点事業や療育支援コーディネーター事業を推進するとともに、重症心身障害児施設の充実等を図る。</p>	<div>（１） ①ライフサポートファイルの実施市町村数 ②児童発達支援センター箇所数 総 ③児童発達支援事業箇所数 総 ④障害児等療育支援事業の実施見込み箇所数 福</div> <div>（２） ①障害児相談支援 福 ②障害児支援（通所系） 福 ③短期入所施設数</div> <div>（４） ①特別支援教育に関する個別教育支援計画作成率 基 ②特別支援教育に関する教員研修受講率 基 ③特別支援教育に関する校内委員会設置率 基 ④特別支援教育コーディネーター指名率 基</div> <div>（５） ①障害児支援（入所系） 福 ②療育支援コーディネーターの配置人数 四</div>